

地域における野生鳥獣被害対策の成果と今後の取組について

対策チーム名： 佐久地区野生鳥獣被害対策チーム

■タイトル 佐久地区における囲いわなによるニホンジカ捕獲について

■地域名 小諸市、立科町

■内容概要

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考

2 取組の概要

区分	内容
経過	佐久地域ではニホンジカ被害は減少傾向にあるが、(H26年度 59,450千円、H27年度 54,907千円と)依然、鳥獣による農業被害の83%を占めており、引き続き効果的な捕獲方法の検証が求められている。 平成27年度は2箇所 ICT を用いた囲いわなの捕獲方法を試みた。
取組内容	(1) 実施場所：小諸市菱平 乳牛育成牧場南側 立科町芦田 蓼科第二牧場内 (2) 捕獲期間：平成27年12月～平成28年3月まで (3) 捕獲方法：餌付けによる誘引
成果	平成27年度は2箇所とも捕獲期間内の捕獲実績はなかった。
農家等の方からのコメント	

3 課題と今後の取組

平成27年度の管内のシカ捕獲数は6,967頭と平成26年の9,438頭の73%あったが、農林業被害額9は前年92%であった。

また、平成28年度の各市町村の捕獲実績は6月末時点で昨年度より多いペースになっているため、シカ生息状況の把握と、天候(降雪等)を考慮した効果的な捕獲時期の設定や誘因方法の検討をしたい。

4 活動状況

ニホンジカライトセンサス

平成 28 年 7 月 6 日	立科町	結果 0 頭	(調査地までの道路沿いで 17 頭確認)
平成 28 年 7 月 11 日	小諸市	結果 0 頭	
平成 28 年 7 月 29 日	南牧村	結果 7 等	(調査地までの道路沿いで 11 頭確認)

立科町の牧場内に設置された囲いわなの捕獲用ゲート (かぞえもん)

